

令和2年5月28日
富山県医師信用組合

新型コロナウイルス対策資金の寄付について

富山県医師信用組合は、新型コロナウイルス対策資金として、富山県医師会に500万円寄付いたしました。

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、4月17日に国の緊急事態宣言の対象地域が全都道府県に拡大されたことにより、富山県においても緊急事態宣言が発令されました。

県内においては、富山市民病院や介護老人保健施設等で大規模なクラスターが発生したこともあり、感染者は大幅に増加しました。

このため、多くの医療従事者の方々は、自らの感染リスクを顧みずに、新型コロナウイルスの感染拡大防止に尽力されております。

また、PCR検査の拡充を求めるニーズが大きくなったことから、医師会を主体に「PCR検査センター」を設置し、先生方が交代で検体採取にあたられている地域もあります。

以上により、富山県医師信用組合は、富山県医師会に所属される先生方の献身的な活動に支援を表明し、新型コロナウイルスの対策資金として、富山県医師会に500万円を寄付いたします。

なお、富山県医師会では、この寄付金を富山県が設立した「*富山県新型コロナウイルス対策応援基金」への寄付金に利用されるとのことです。

以上

* 富山県では、新型コロナウイルス対策のための事業に充てるため、「富山県新型コロナウイルス対策応援基金」として、ふるさと納税を活用したクラウドファンディングを実施し、寄付の受付を開始することになりました。

この基金には、立川志の輔さん、柴田理恵さん、室井滋さんなど多くの富山県出身の著名人から賛同や応援のメッセージが届けられております。

寄付金の使途としては、医療従事者への支援、医療用防護具、機器の整備などに活用されるとのことです。